

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎に注意!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 19	23	百日咳	↓ 0	2
RSウイルス感染症	↓ 1	4	ヘルパンギーナ	↑ 44	37
咽頭結膜熱	↓ 10	20	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 22	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 87	72	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 485	648	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 20	22
水痘	↓ 10	19	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 242	276	無菌性髄膜炎	↑ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 14	10	マイコプラズマ肺炎	↑ 4	3
突発性発しん	↓ 46	47	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑ 1	0

報告が多い感染症  
 感染性胃腸炎  
 手足口病  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域  
 感染性胃腸炎 : 菊池、山鹿、有明  
 手足口病 : 水俣、八代、菊池、天草、宇城、有明、山鹿  
 流行性耳下腺炎 : 人吉

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	5		4	29	119	2	40	4	14		3	3		20		1	2		
山鹿保健所					32	2	4		4		1		*	*					
菊池保健所	1	1	2	19	138		41	1	8		3								
阿蘇保健所					6								*	*			1		
御船保健所				3	36	1	1	1				1	*	*					
八代保健所	1			2	40	2	53	3	5		8	3							
水俣保健所					2	2	43		5				*	*					
人吉保健所	2			13	11		3		2		4	10	*	*			1		1
有明保健所	2		1	9	63		13	1	4		1	5							
宇城保健所	5		2	2	15	1	12	1	4		11		*	*					
天草保健所	3		1	10	23		32	3			13								
計	19	1	10	87	485	10	242	14	46	0	44	22	0	20	0	1	4	0	1

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	19	0	0	2	0	0	0	1	1	1	2	0	5	2	1	1	2	0	1	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	10	0	1	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87	1	2	1	4	7	14	13	12	8	7	2	13	1	2						
感染性胃腸炎	485	4	24	54	46	57	32	34	39	28	21	13	67	7	59						
水痘	10	0	1	1	2	0	3	1	1	0	0	0	1	0	0						
手足口病	242	2	19	80	55	46	13	15	7	2	2	0	1	0	0						
伝染性紅斑	14	0	1	1	3	1	1	2	3	0	0	0	1	0	1						
突発性発しん	46	0	21	23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	44	0	7	19	10	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	22	0	0	2	0	5	2	6	3	0	2	2	0	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	20	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	3	5	3	0	1	1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	4	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**A群溶血性連鎖球菌咽頭炎に注意しましょう**

今週のA群溶血性連鎖球菌咽頭炎の報告数は87件と、5月4日の週以降増加しており、幼児~学童のお子さんからの報告が多くなっています。警報レベルに達している地域はありませんが、人吉、菊池、天草で報告が多くなっています。  
 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎とは、A群連鎖球菌という細菌が感染することにより、高熱・のどの痛みを主症状とする急性の感染症です。いずれの年齢でも起こり得ますが学童期のお子さんに多く、春から夏、及び冬の2つの時期をピークとして流行がみられます。主な症状はおよそ1週間ほどで改善しますが、リウマチ熱(主な症状として高熱、関節炎、紅斑、心炎)や急性糸球体腎炎(肉眼的血尿、高血圧、むくみ)などの合併症をおこすことがありますので注意が必要です。手洗い・うがいなどの一般的な予防対策が有効ですので、しっかり行って予防に努めましょう。

**A群溶血性連鎖球菌咽頭炎とは**  
 【潜伏期】  
 2~5日間  
 【感染経路】  
 せきやくしゃみなどに含まれる細菌によって感染します(飛沫感染)。また、排出された細菌が手などを介し、口に入ることで感染します(接触感染)。  
 【主な症状】  
 突然の発熱、のどの痛みや腫れ、嘔吐がみられます。感染1~4週間後にリウマチ熱、急性糸球体腎炎などの合併症を起こすことがあります。  
 【予防法】  
 手洗い、うがいなどの一般的な予防対策が有効です。咽頭痛がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

